

PASS ON THE FEELING



No. **02**
Special Report.

Builder:
井坪工務店
Note:
飯田市 / 1邸
家族構成 / 5人

変えていくこと、変わらないこと



家族でずっと、大事に
していくもののために

家を建てる時、家族の夢を
叶えるために、より快適に過ご
すために、それまでの住環境を
いろいろな場面で改善しようと
考えます。一方、自分たちがこ
れまで大切にしてきたものは、
家が変わってもずっとつないで
いきたいと願う気持ちがある。ど
の家族にもあります。

家のあり方を私たちが変えて
いくのも、変えずにそのまま
おくのも、理由はきつと一緒に
です。家族でずっと大事にして
きたいものがあるからです。





上質感を漂わせる塗り壁の佇まいが、伊那谷の自然豊かな風景に美しく馴染む。

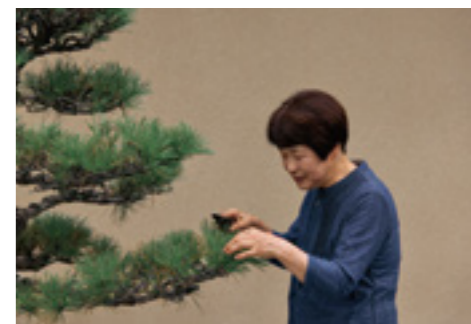
ちゃんの14年前に亡くなったご主人が井坪工務店の創業者である会長の同級生だった縁もあり、井坪で建てました。大工の腕の確かさ、気遣い、家を建てた後の面倒見の良さを知っていたから、今度も安心して任せることができました。

前の家と変わったことがたくさんあります。北向きだったキッチンが今度は明るくなりました。二間続きの座敷の代わりに家族で過ごす空間をたっぷり取りました。回遊する家事動線を取り入れたら動きが無駄がなくなりました。南アルプスの山並みやまちな風景を、キャットウォークをつけた窓から眺める楽しみもできました。

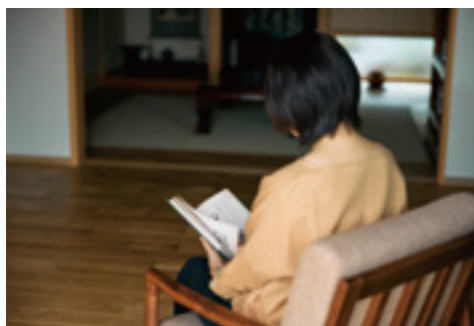
おばあちゃん、娘さん夫婦、そのお嬢さん2人の三世代5人が暮らすお宅です。場所は、リニア中央新幹線の駅周辺整備に伴う住民の移転先となった分譲地の一つ。Iさん一家も、慣れ親しんだ土地からあまり離れたくないと、かつてみんなで過ごし、今は解体された家から数百メートルほどのこの場所にこの家を建てました。

家づくりを任せたのは井坪工務店です。以前のお宅も、おばあ

大工が親切で、腕が確かで、
施工後の面倒見も良い工務店



庭にはかつての自宅にあった木を植え替えた。手入れするたびに、以前の家での家族との思い出がよみがえる。



以前は北向きで暗かったキッチン
を明るくしたいとの願いが叶った。
母娘でここに立つのも楽しい。ダイ
ニングテーブルでの食事は足腰が
楽だとおばあちゃんも喜ぶ。

えのせいもあるとか。
変わったこと、変えたことが
ある一方で、新しい家になっ
ても変わらないことがたくさん
あります。縁側から見える庭には、
以前の家の庭で育っていた木々
の中から、厳選したものを移植
しました。なかでもおばあちゃん
のお気に入りには紅葉が鮮やか
なドウダンツツジです。庭石に
した鉄平石、縁側の足下に据え
た沓脱ぎ石、石灯籠も以前の暮
らして親しんでいたものです。
そして、井坪工務店の技術や
心遣い、建てた後のフォローへ
の信頼も変わらぬままです。



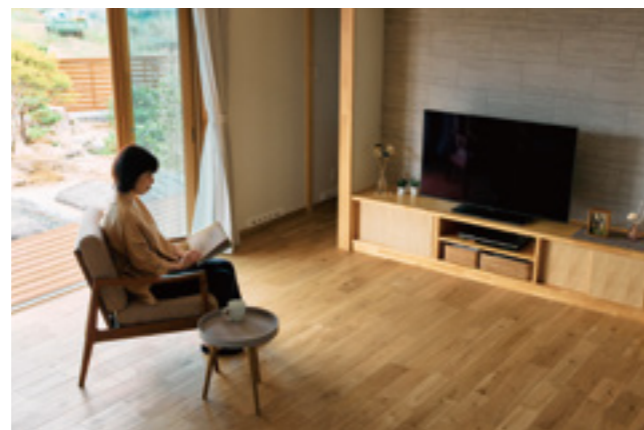
ここへ越す前の家の庭木を
この家でも生かしてあげる

2階が娘さん夫婦と子どもた
ちのプライベートスペース。平
屋部分の玄関に近い部屋がおば
あちゃんの居室。その中間にあっ
て世代をつなぐのが、吹き抜け
のあるダイニングと広々したリ
ビングです。椅子に腰掛けて食
事ができるので体への負担も軽
くなりました。冬の家族団らん
の時間を温めてくれるのは、娘
さん夫婦の希望で入れた薪ス
トープです。

おばあちゃんの居室からリビ
ング、ダイニングまでを屋外と
つないでいるのが縁側で、前の
家にいたときより外を眺める機
会が多くなったのは、そのこし



玄関にはおばあちゃんの亡くなったご主人が描いた日本画が
掛かっている。絵とともにふるさとを愛した人だった。



飯田の自然を生かして南向きに配置したLDKとおばあちゃんの居室には、陽光が差し込み、心地よい風が入ってきます。緑側で庭や南アルプスの山並みを眺めながら語らう時間もうれしい。



今日も玄関に静かにあって 家族5人を見守る日本画

I邸の玄関には150号ある日本画が掛かっています。おばあちゃんのご主人が描いたものです。中学時代から美術に親しみ洋画家になることを夢見ましたが、生家が農家であったため農業高校に進学し、家業を継いだのだとか。それでも絵を描くことへの情熱は冷めず、農作業の合間に寝る間も惜しんで絵筆を執り続けます。日本画に転向してから腕を上げ、日展や日春展

で入選、県展では知事賞などに輝きました。ふるさとを愛し、地元の寺の天井画や母校の小学校の校章のデザインにも関わった人でした。その絵は、前に住んでいた家でも玄関に掲げられていたといえます。谷川の清冽なみなぎりに生ある限り絵の道を歩きたいと願った画家の声が聞こえるようです。夫として父として祖父として、家族を守ってきた人の眼差しを思います。もう一つ、前の家と変わらないものがありました。そう。この家族5人での暮らしです。



客間と仏間を兼ねた和室をリビングの隣に置いた。ライフスタイルの変化で部屋の使い方も変わり、座敷は一部屋で十分。

